

## 川越市社会福祉審議会児童福祉専門分科会からの意見(平成23年7月27日)

資料1

### 基本目標4:子育てを地域で支える仕組づくりの推進

#### 4-(1)多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

No.	事業名	所管課	児童福祉専門分科会からの意見	所管課の回答・考え方
1	ワークライフバランスの推進・啓発	緊急地域経済対策室 子育て支援課 保育課	・ワークライフバランスの推進・啓発について、101人以上の企業を対象としているようであるが、母子家庭、父子家庭の方については、100人未満の企業に勤めているケースが割合的には多いと思う。そうした零細企業がどのような対応をしているか調べてみるとヒントが得られるのではないかと思う。	・比較的規模の小さい企業が、子育て支援に関してどのように取り組んでいるかを把握するため、市内の事業所等(380社)に対し、「企業経営における子育て支援に関するアンケート調査」を実施するとともに、総合的に情報を提供する「両立支援総合サイト」の利用について広く周知した。 調査結果は別紙のとおり。 また、H23年度は「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」を9月28日(水)に実施した。

### 基本目標5:子育てを地域で支える仕組づくりの推進

#### 5-(3)子どもの健全育成の取組

No.	事業名	所管課	児童福祉専門分科会からの意見	所管課の回答・考え方
10	児童館機能の整備	青少年課	・上尾市の児童館は子ども達がのびのび遊べるともすばらしい施設である。1日に延べ600人利用があるそうだが、半数は川越市からの利用者の方である。参考にさせていただきたい。	・利用者から寄せられた声を基に魅力ある児童館にするため、児童センターこどもの城については本年秋に改修工事を実施。また、他の児童館(川越駅東口・高階)との連携を図りながら、子どもたちにとって楽しい事業が実施できるよう、内容の一層の検討と事業の更なる充実を図っていく。

### 基本目標6:要支援児童への決め細かな取組の推進

#### 6-(3)障害児施策の充実

No.	事業名	所管課	児童福祉専門分科会からの意見	所管課の回答・考え方
17	発育・発達クリニック	健康づくり支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このような事業は一緒にして拡充していくとよいと思う。</li> <li>・健診タイミングについては3歳4か月では遅いと思うので再検討していただきたい。</li> <li>・事業実績内容が全く同一であるので見直していただきたい。</li> <li>・半年先まで予約が入ることもあるとの記載もあるが、新規相談枠をどのくらい設けているのか。</li> <li>・件数について、掲載されている人数はが延べ人数であるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の一本化については平成24年度の実施に向けて検討していきます。</li> <li>・1歳6か月児健診の次の健診は3歳児健診になっています。1歳6か月児健診で継続支援が必要な児、及び相談等から継続支援が必要な児については、心理相談や発育発達クリニック等で継続支援を行っております。</li> <li>・3歳児健診につきましては、尿検査、視聴覚検査を実施しているため、検査可能な月齢を考慮し3歳3か月児を対象に実施しています。</li> <li>・新規相談枠は1件分確保しております。他の相談枠も利用し、新規の方でも、1～2か月後には予約できています。</li> <li>・件数は延べ人数になっています。</li> </ul> <p>※個別施策の進捗状況シートの事業実施内容を修正しました。</p>
18	子どものこころの健康相談			

基本目標7:子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

7-(3)安全・安心なまちづくり

No.	事業名	所管課	児童福祉専門分科会からの意見	所管課の回答・考え方
1	安全・安心な都市公園の整備	公園整備課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水場の清潔感、綺麗さでその公園に行きたいと思うものである。</li> <li>・ふじみ野市の公園を見に行ったが、広いスペースで親子一緒に入れるトイレがあった。今後トイレを造る場合や改修する時は、親子で入れるスペースという観点をもってもらいたい。</li> <li>・川越駅の近辺でお散歩できる場所がなく、あるとしてもお寺か神社しかない。駅周辺に緑化のスペースが仙波河岸史跡公園しかない。川越駅周辺に流入人口が増えている中で子どもが遊べるところがクラッセの東口児童館のみで、あとは商店街をお散歩するしかないというのはさびしいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水場につきましては、伊佐沼公園に水遊びができる徒渉池が整備されています。また、広いスペースの多機能トイレにつきましては、市内の20箇所の公園に整備されており、今後も利用のしやすいトイレの整備に努めてまいります。</li> <li>・川越駅周辺の公園整備につきましては、クリアモール沿いにクリアパーク、川越駅西口側には、脇田本町公園、御野立の森公園が整備されており、今後も公園の充実に努めてまいります。</li> </ul>
2	旅客施設、車両等のバリアフリー化	都市交通政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノンステップバスの補助については、幼稚園の送迎用のバス、福祉車両についても補助はあるのか。</li> <li>・行政が実施するのであれば、ノンステップバスに乗りやすいように路肩の整備をするといったようなことを実施した方が妥当であると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市交通政策課所管の「ノンステップバス導入促進事業費補助金」については、路線バスのバリアフリー化を推進することにより、市民が路線バスを利用する際の利便性及び安全性の向上を図り、もって市民の路線バスの利用を促進することを目的としているため、幼稚園の送迎バスや福祉車両は補助対象となりません。なお、幼稚園の送迎用のバスや福祉車両といった特定車両のバリアフリー化については、それぞれの所管する部署等で対応していくべきものと考えます。</li> <li>・広く市民が利用する路線バスに対し、ノンステップバス導入への補助を行い、その導入を促進することは、市独自の補助ではなく、県とも協力して取り組んでいる事業であり、また、路線バスを利用する際の利便性及び安全性の向上を図り、誰もが利用しやすいものとなることから考えても行政が実施することは妥当と考えます。路肩の整備については7-(2)-1「歩行空間のバリアフリー化」または7-(3)-4「公共施設等のバリアフリー化」で進めている内容となります。</li> </ul>